プロジェクト離脱のお願い  
現在手掛けているVAプロジェクトは設計上の懸念点やプロジェクトの進行方法から、さらに進めるのは困難だと思われます。社内有識者チームによるソリューション案への早期レビューとプロジェクトからの離脱をお願いします。また、下記2点を例にして、詳細を説明させていただきます。

1. Azure Cloudからオンプレミスプリンターへの直接印刷案  
   ア、 上記のソリューション案について、プロジェクトの早い段階でもすでにプロジェクトマネジメントに懸念点を伝えました。  
   イ、 途中段階にてアーキテクトのLさんより、Azureチームに聞いてから決定するとの発言がありました。  
   （この時点でプロセス上で今回のソリューション案の設計に欠陥があることはすでに明らかです。）
2. ウ、 Azure TeamのTさんより、問題はないとの結論を告げられましたが、実際にメールにてTさんに確認したところ、下記のメール抜粋で示された通り、社内の事情によって、当面Azure Cloudからオンプレミスプリンターへの直接印刷は不可能であるとのことでした。
3. それにも関わらず、Lさんはご自身の調査結果を元に実装可能だと言い続けており、その通り実装するよう要求しています。  
   エ、 こちらが提出した代替案は、一案が廃案にされて、もう一つの案はPlan Bとされています。

オ、 こちらは上記の直接印刷案を実装するためのインターネット上のサンプル例などを求めましたが、返事がないままです。  
  
  
上記の状況を踏まえますと、さらに進めるのは私でしたら実質上不可能であり、簡単に予測できる結果に対してのPlan A/Plan Bのようなアプローチにも納得できません。  
言うまでもなく、ソリューション案の失敗を直感するのは簡単ですが、まわりの人間を説得するのは莫大な時間がかかり、それでもこういう結果になってしまったのは非常に残念です。

もう一例は帳票テンプレートデザイナーのアサインです。  
一、 プロジェクトの早々でもAd Hocの帳票開発ではなく、一回限りの開発ですので、ビジネス側のテンプレートデザインの関与はとくに必要がなく、じゃないとかえって不要な依存関係が生じてしまうと自分の考え方を伝えました。  
（今回はセキュリティチームの未経験のメンバーにテンプレート設計を依頼し、将来ビジネス側が自分でもテンプレートを設計できるようにためのアプローチが取られていますが。）  
二、 会議、メール、カジュアルの会話で、帳票テンプレートの作成はこちらの作業のDependencyになり、早く着手してほしいと重ねて伝えましたが（尚且つ開始できない理由は特にないと思われています。）、先週金曜日にいつごろ終わる予定ですかと確認したところ、「いつごろほしいですか」と返されてしまいました。  
　　別に帳票テンプレートがあっても、こちらの認識でそれだけでビジネス側とレイアウト上の仕様確認が難しく、またこちらの環境に合わせてフォントなども変更を加えること必要になると思います。

現在POCとして  
① 帳票出力用のデータソースの作成  
② Jasperを使ってのPDF帳票出力  
はすでに完成しました。  
必要に応じて、こちら責任をもってリファクタリングするのは問題がありません。  
今後の作業はどうしても私の関与が必要であれば、相談ベースのタスク単位で進めたいと考えております。  
より効率的に時間を使うために、現プロジェクトの残課題に対応しながら、ほかの開発案件にアサインしていただければ助かります。